

文書番号	JIM433-1
制定日	H30. 4. 2
改訂日	R8. 4. 1

令和8年度 環境目標一覧表

	基本方針	共通目標項目（全所属）	単年度目標	関連するSDGs目標	長期目標
2	の循環型社会を構築し、2050年までの脱炭素社会を推進する	電気使用量の削減	14, 318, 125kWh以下とする	 	—
		灯油使用量の削減	379, 244ℓ以下とする	 	—
		ガソリン使用量の削減	4, 393ℓ以下とする	 	—
		軽油使用量の削減	48, 380ℓ以下とする	 	—
		OA用紙の使用量の削減	1, 089ペ以下とする		—
		ごみ排出量の削減	可燃ごみ1, 193. 5kg以下とする プラスチック類ごみ295. 7kg以下とする	 	—
		グリーン購入推進について、 特定調達物品調達率95%以上の 品目数の割合を向上させる	年間86. 8%以上とする		—

	基本方針	所属目標	関連するSDGs目標	担当所属
1	安心安全な施設運営	廃棄物の不完全燃焼時に発生するCO排出濃度について、 1時間平均値29ppmの超過回数を10回以内とする	  	施設課（折居）
		2炉運転時において、 焼却量1 tあたりの売電量の平均値を257kWh/t以上とする	 	施設課（折居）
		廃棄物の不完全燃焼時に発生するCO排出濃度について、 1時間平均値29ppmの超過回数を12回以内とするとともに、 炉内温度850℃以下の発生回数を28回以下とする	 	C21長谷山
		事業系一般廃棄物の展開検査の実施対象車両台数を年間90台以上とする		C21長谷山
		排水処理施設の処理水のBODの値が 15mg/ℓ（基準値60mg/ℓ）を超えないようにする	 	三郷山
		排水処理施設のCODの値が 10mg/ℓ（基準値20mg/ℓ）を超えないようにする	 	三郷山
		自己搬入の不燃ごみからリユース品を100点以上回収する	 	RC長谷山
2	の循環型社会を構築し、2050年までの脱炭素社会の構築を目指した一體的な取組	職員の環境意識向上のための研修を年間通して適宜実施する	 	循環型社会推進課
		庁内だより及び安全と衛生をそれぞれ年3回発行し、 MyWeb掲示板等ペーパーレスで全職員に配布する	  	総務課
		リモートワークを10回以上行う	 	総務課
		課内において使用する資料のペーパーレス化を図る	 	会計課
		Instagramを100回以上発信する		広報協働課
		リユースコーナーにおける減量実績を令和7年度（2, 488kg）以上とする		広報協働課
		環境ふれあいひろばの利用者数10, 000人以上を達成する	 	広報協働課
		クリーンピア沢のLED普及率を5. 0%以上にする		業務課
		定例会議に使用する資料のペーパーレス化を図る		業務課
		剪定枝チップ化物の配布拡大及び周知・啓発	  	施設課
		プラスチック資源の不適物混入状況をSNSにて6回以上発信する	 	RC長谷山
		資源物の不適物混入状況をSNSにて4回以上発信する	 	RC長谷山